

令和7年度 第6回目黒区芸術文化振興計画改定懇話会 会議録

名称	第6回目黒区芸術文化振興計画改定懇話会
日時	令和7年9月25日(木) 午後5時00分～午後6時20分
会場	中目黒GTプラザホール
出席者	垣内委員、前山委員、岡田委員、奥津委員、瀬沼委員、原田委員、青木委員、橋委員、河村委員、山本委員 <事務局>文化・スポーツ部長、文化・交流課長、文化・観光係長、文化・交流課係員
欠席者	大野委員、中務委員
次第	1 開会 2 議題 (1) 素案の確認について 3 その他 4 閉会
配布資料	資料1 めぐる芸術文化振興プラン(素案) 資料2 検討会・懇話会のご意見・修正方針

発言内容等	
1	開会
(開会あいさつ) 部長・課長挨拶、委員の紹介、資料の説明、確認	
2	議題
(1) 素案の確認について	
<ul style="list-style-type: none"> ・書面で頂戴したご意見一覧はA3版の資料で示されている。 ・今回の素案では、成果指標と施策の推進について具体的な内容が示された。集まって議論できるため、全員にご意見を頂戴したい。前回よりもかなり具体的になり、ストーリー性・メッセージ性が高くなった。 ・各委員の専門・経歴から得られる知見からご意見を頂戴したい。区民の方にわかっていただくことも重要ではあるが、取組がプラン内に盛り込まれていないと、予算措置や協力体制の構築が進めづらくなる。漏れている個所等がないかの観点でもご意見をいただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・33 ページの「特別支援学級の連合展覧会への参加会」は良い取組だと思う。地域の子供のつながりもできるため、今後もぜひ続けて欲しいと考えている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・前回よりも具体例が載っているため、わかりやすくなった。普通の住民が読むにも理解しやすくなっているだろう。 ・パブリックコメントはHPや区報に掲載されると思うが、一般の区民が入りやすいようにパーシモンホールのパフレットにも載せてはどうだろうか。興味ある人を知ってもらいやすくなると思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「ART LETTER」があるが、年に4回発行でタイミングが合わない可能性が高い。パブリックコメントについては、10月15日から1か月間、ホームページに掲載するとともに、11月1日号の広報にも掲載予定である。区には多数の計画があるが、同様のスケジュールで進行している。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に見てもらうことが大事であり、一般的なチャンネル以外もご検討いただければと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・区民センター建て替えの際もパブリックコメントを実施していたと思うが、周囲の住民も知らなかった。残念であったため、ご検討いただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・将来像のスローガン「まちに咲き～」の「みんながはぐくみつながる」は「芸術文化をはぐくむ」と理解した。「みんなで」ではなく「みんなが」などになっている経過をお伺いしたい。 ・基本目標3の施策に「子どもたち」に関する文言があったが、外れた理由はわかるか。目標3から抜いた経過をお伺いしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが」の言葉が持つニュアンスがよかったためである。 ・子どもに関する部分に関して、各所管から関係する事業を出してもらおうのだが、その際に子どもに関するものだけを取り上げてまとめるよりも、各施策に散らばせた方が良いと考え、そのようにした。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが」の表現は主体性が重視されるものだと理解している。 ・子どもに関する事業は、バランスのととり方が難しいだろう。高齢者はどうするかという側面もある。子ども・年齢・国籍の違いに関わらず、多様な人を対象とすることが、計画における前提とする一文を加えておくのも手段の一つであると思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化を育みつつ、区民もみんなで育ていきたいと思いますという意味も含むのか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・25 ページに説明がある。芸術文化との出会いや接点に言及しており、人が育つこととは少し異なるが、文化的土壌を耕すという面で人間も入っているようにも読める。書きぶりをわかりやすくすることは区民にとっては重要である。文化縁が目黒区の施策の重要な点であるため、そこを踏まえて良い表現があれば、ご提案いただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のプラン策定中には美術館の方向性が決まっているだろうから、当初はそれを踏まえた芸術文化振興プランを作るのだろうと考えていた。 ・美術館の方針に関しての正式発表の前にプランを作ることを考えると、美術館が具体 	

発言内容等
<p>的にどうなるかは別として、美術館活動は変わりなく進めていくものだと認識している。もっと美術館について、詳しく書くべきという意見はあるかもしれないが、それは区報などで随時伝えれば良いのだと思う。今の段階での進め方としてはこの計画の形で良いのではないだろうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館のプランは大きく変わっているが、プラン内には美術館の役割がしっかり書き込まれていると思う。見直しも明記されており、計画の持続的改善が行われることになっているため、おおむね問題ないものであると理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な施策の内容が興味深かった。MDC、デジタルミュージアム、人気コンテンツ等がこれから始まるのだろう。 ・デジタルミュージアムに関しては、インターネットアーカイブが数年間で急速に進歩しており、フランス、イギリスの図書館などは非常に充実している。ぜひ進めていただいてはどうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・素案がすっきりしていて読みやすいと思う。 ・学校で実施している事業がいくつか載っているが、保護者が見たときに学校で実施している取組と結びつくかが疑問に感じた。写真を載せることなどでアウトリーチプログラムなどにつながるのだと思う。ページ制限もあると思うが、ご検討いただければと思う。活字が苦手な人もいると思うため、見た目も考えてもらおうと良いと思う。 ・7月28日に文部科学省文科省の次の学習指導要領の検討会議を見た。そこでは、国が文化芸術の大切さに触れていた。芸術系の教科は問やテーマを自分で作るものであり、予測困難な時代にいきる子どもにとって芸術が重要であることを示していた。このような国の考えがここに取り込まれると良いと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル面も対応できるだろう。リーフレット作成も行われ、そこでビジュアル面も充実させることになると思われる。他の自治体では表紙を公募して親近感を持たせることもあるが、時間的制約があるので、難易度は高いだろう。いずれにせよ身近に見られるような工夫はするだろう。 ・授業の面に関しては、授業コマ数が減っている現状で、情報やデータサイエンス等が更に入ってきている。どう書くとよさそうだろうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・コマ数などは細かく書かず、例えば、国・東京都の動向の箇所のような場所に軽く一文入れることもできるだろうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・この箇所は、法律を取り扱うことが主となるため、例えば冒頭1ページで、子たちも含めすべての人にとって重要であることに触れてはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・いずれも事務局で検討したい。デザインについては委託事業者と相談しつつ決めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・5ページの計画の位置づけにおいて、障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画を「兼ねる」のは不十分ではないかと考えた。 ・先進的な自治体の計画を見ると、例えば、滋賀県は第3段階に進んでいる。基本計画という名称の割には中身がそこまで詰まっていないのではないかと感じた。基本計画は大事な計画であり、国の助成金がもらえる。私は審査員として、他の計画を見ているが、他の自治体はもう少し突っ込んでいます。気持ちとしては、別途基本計画を作る方が良いのではないかと。 ・アンケート等においては、意見収集にとどまっている。他の自治体のように「これをやります」がないと計画として弱いのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の芸術文化活動に関して、整備をしっかりやりたい自治体は、別建てで計画を作ることが多い。一般論としては、インクルーシブな対象として同計画を芸術文化振興プラン取り込んでいくということができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区においては、社会包摂の施策の一環として取り扱わせてもらっている。自治体によって方針は異なるものだと認識している。例えば目黒区では、男女平等共同参画の計画にDV対策基本計画が入ったりするなど、他の計画を包摂して策定することが多い。

発言内容等
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の中身はしっかりと充実させた方が良い。バリアフリーは当たり前で、合理的配慮をどう進めるかまで踏み込んでもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね良いと思っているが、幅広い世代や多様性、障がいを持つ人というように、幅広い区民を対象にしている。前回プランよりもかなり攻めているのではないか。芸術文化の考え方は立派であるが、予算確保についても言及されている。これを基に10年の事業が展開されるのだろう。家族が特別支援に関わるようになって、障がいを持つ方のことも気になっていたのだが、そこは「多様性と社会包摂の推進」に関する取組でフォローされていると読み取らせていただいた。
<ul style="list-style-type: none"> ・25 ページで時間的なつながり、文化財の一覧もご提示いただいた。掲載されたことに意義を感じるが、これが実践レベルではあまり反映されていないようにも感じる。28～29 ページに伝統的な文化施設での実施・利用などを念頭にしてはどうかと考えた。 ・「子どものための音楽祭の実施」や「連合展覧会・連合音楽会の実施」の取組がある。ホールが主たる施設だろうが、それにとどまるものではない。この取組を音楽に限定してもよいのだろうかと思うため、芸術鑑賞教室として「音楽など」としてはどうか。 ・音楽会のような取り組みを通じて、音楽を演奏する機会、そして聴く機会を増やし、地域に音楽を楽しむ風習を根付かせることに貢献していきたい。豊島区では、区民向けの講座を実施しており、近隣の方が多く集まっている。このような教育事業に関しては30 ページの「入門的芸術文化講座の実施」が該当するが、数が少ないような気がする。学ぶ・知識に関することについても触れてはどうか。そして入門に限らずに広く対象とすることも考えられるだろう。
<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、「入門」をカットして「ニーズに合った」などはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・実施する事業を他所から買ってくる、借りてくるのではなく、区の資源を活用してという視点もどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・いずれも反映可能な個所について検討させていただく。
<ul style="list-style-type: none"> ・人気コンテンツ・時代の流行が気になる。わざわざ言わなくても流行の持続性も考慮して、内発的な「区民の関心がある」などの表現にしても良いのではないか。 ・部活動の地域移行も重要な要素だと思う。スポーツには予算を付けているが、文化は厳しい様子である。対応している個所はあるのか。 ・38 ページに記載がある「協議の場」は取組が小さい。まずはシステムを作ることが大事ではないか。連携することに主眼を置くならば、連携が重要であることまで踏み込んだ書きぶりとするのを検討してはどうか。 ・文化縁の位置はここで良いのかも検討事項だと思う。説明は1 ページに書いてもよいかもしれない。
<h3>3 その他</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・来年1月に次回の懇話会を設けさせてもらいたい。1月の会議ではパブコメ実施結果と最終案をお示ししたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・友人・知人へのパブコメ周知についても皆様にご協力いただきたい。
<h3>4 閉会</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・閉会挨拶